



墨東の学び

学校通信⑥ 第2学期開始号
令和5年9月1日発行
東京都墨東特別支援学校
校長 田村 康二郎

学び・スポーツ・芸術・読書の2学期スタート!

夏季休業中の登校日や水泳指導を経て、いよいよ2学期の開始です。総合防災訓練 part II 及び中1生対象の宿泊防災訓練、校外学習の第2シーズン到来です。学期末に開催の墨東祭に向け、日々の学習を積み上げていきます。

9月以降のマスク着用等の取扱い方針!

社会状況を踏まえ、本校教職員のマスクの着用については、個々の判断による形に移行します。直接指導時に接する墨東生個々の実態、対人距離、密集度、校内・校外に応じて柔軟に判断をしていきます。一方で職員室や経営企画室等、墨東生と動線が重ならない空間では、原則、着用不要とします。(個々の判断で着用することは構いません。)

<給食タイム:再掲> 食育上の観点「楽しい食事タイム」の面も重視して、**給食の時間に関しては教員が同室で共に昼食をとりながらの形態に移行し、喫食中は当然ですが教員もマスクを外す事を継続します。**(多くの学校では教職員同室、会話有、マスク不要に移行済です)

<プールでの水泳指導タイム:再掲> **水泳指導では、専用マスクの着用は原則、不要を継続します。** 理由としては、①墨東生の顔と至近であることから、固い素材のマスクで相手側を傷つけないようにするため。②水泳指導時の教職員の十分な呼吸確保のため。(安全措置上、潜っての救命行動も想定した判断です)

なお、いるか分教室やつばさ病院訪問学級やかもめ分教室では、各病院等の求める基準に基づいて対応します。

つばさ在宅訪問学級も、各病院等の基準に準じます。

<報告> 総合防災訓練 part I を8月22日に実施しました!

夏季休業中の8月22日(火)午後、本校全教職員が参集して総合防災訓練 I を行いました。災害時組織を構築し、防災各班に分かれて避難所設営訓練、帰宅困難者支援ステーション開設訓練、非常発電機器始動訓練等を行いました。同時に学校防災教育推進委員会を招集し、自治会長様、PTA役員様、江東区防災担当者様、管轄の消防署・警察署の各御担当様の委員の皆様にも実際に訓練に立ち会っていただき、改善等の御助言をいただきました。この訓練は9月末、墨東生も加わっての総合防災訓練 II 「引取り訓練」へとステップアップしていきます。

校内待機保護者用のテレワークブースを設置、9月1日から利用開始!

医療的ケア等に伴って校内待機をお願いしている保護者の方が、在宅勤務と同様に遠隔会議等の用務に在校時にも利用できるように都の事業が本校を含む都立特別支援学校2校で開始となります。併せて保護者が接続できるWi-

Fiも今後、設置予定です。必要とする方のどなたもが気持ちよく利用できるように「テレワークブース利用ルール」について別紙のように決めました。(ブースに掲示)

今後の利用状況を踏まえながら、必要に応じてルール等を改訂していきます。

<報告>全教職員を対象に授業力向上研修を3回開催!

8月21, 23, 28日の三回(各回50人程度)に分けて宮城武久先生と宇川和子先生を講師に、文字・数の概念獲得の基盤となる「形の弁別学習(○と△を区別して選択する学習)」の方法をワークショップ形式で学びました。教材の提示の位置・タイミング・言葉掛け・褒め方、学習者の視線把握と支援方法・教材の撤去のタイミング学習の始めと終わりの徹底などを模擬個別指導という方法で子供役と指導者役とを入れ替りながら心理体験を通して実感しました。本校保護者からもぜひ聴講したいとの御希望が寄せられましたので、希望者を調整いたしまして、14名程の方に参加していただきました。結果として大変好評でしたので、宮城先生に保護者向け学習会の講師をお願いしたところ、御内諾を頂きました。11月前半に予定しています。別途、御案内します。



<おしらせ> 教員の病気休職等取得に伴い、指導体制を調整します!

小学部の荒木盛子教諭が病気治療のため病気休職することになりました。中学部の長嶺亜矢子教諭は6月より病気休暇をいただいておりますが、回復がおもわしくなく期間を延長することになりました。高等部の鎌形翼教諭は御子息誕生に伴い、3月25日まで育児休業に入ります。代わりに高瀬浩之教諭が着任します。また、小学部・中学部は時間講師が入ります。指導体制につきましては不安のないように万全を尽くしてまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

指導の専門性向上を図るために外部専門員を増強します!

今年度、新たに策定した「学校経営計画」には、授業力を含む特別支援教育の専門性向上を掲げています。そのための方策として、教職員の指導力向上のための専門家招聘予算の増額をお願いしたところ、認められましたので、9月以降に、更に以下の専門家が定期的に来校して下さることが固まりました。

竹内 朗 先生 【肢体不自由教育アドバイザー】

元特別支援学校副校長、日本肢体不自由教育研究会発行の定期刊行誌「肢体不自由教育」編集協力委員を務めるなど、長く肢体不自由教育の指導に携わり、肢体不自由教育全般に造詣が深い方です。教員・学校介護職員個々の経験に応じた具体的な助言をお願いしました。〈週1回程度来校〉

阿部 晴美 先生 【肢体不自由教育アドバイザー】

元特別支援学校主幹教諭、長く肢体不自由教育に携わる中で、日本肢体不自由教育研究会からその実践研究「食事指導のリスク管理」等の業務が評価され、第47回（平成25年度）「ねむの木賞」が贈られるなど、摂食指導・姿勢介助も含めた肢体不自由教育全般に造詣が深く、教員・学校介護職員個々の経験に応じた具体的な助言が期待できます。

〈2週に1回程度来校〉

宮城 武久 先生 【学習指導アドバイザー】

元盲学校・養護学校教諭を歴任。現在は、つばき教育研究所理事長として、障害種と程度を問わず、希望者に研究所で個別学習を提供する機関を運営されています。そこで蓄積した事例を基に培った指導方法を学研から「障害のある子どものための基礎学習」としてシリーズ6巻が刊行されています。特に重度の子どもに考える力を育てる基礎学習の指導方法に関する国内の第一人者として、北海道から沖縄までの多くの教育委員会から研修講師の招聘を受けて公演を重ねています。さらに、毎日のように外部専門員として都内の特別支援学校で学習指導アドバイザーとして活躍されています。一方で障害当事者（全盲）であることから、都内小・中学校等からの招きに応じて障害者理解教育の講師として盲導犬とともに講演を重ねられています。

〈10月中旬頃から3月まで10回程度、日程は調整中〉

宇川 和子 先生 【学習指導アドバイザー】

元特別支援学校副校長を経て、現在は多摩つばき教育研究所所長を務められ、宮城武久先生と呼応して都内特別支援学校に外部専門員として教職員の授業力向上に関しての助言を行われております。宮城先生の著作についても最近作では共著されています。〈宮城氏と一緒に来校〉

赤木 かん子 先生 【読書活動アドバイザー】

「本の探偵」を経て、児童文学評論家の傍ら、全国各地の求めに応じて、図書館の再生と魅力化に飛び回られています。最近では広島県の求めに応じて、県立図書館内に新たに「こどもサイエンスライブラリー」のデザインと選書を託され、来館者倍増というニュースが話題となりました。

本校の各階図書ラウンド設置と読書活用や墨東生向けの選書に関してのアドバイザーをお願いしました。

〈月1・2回程度来校〉

金竹 隆志 先生 【教材アドバイザー】

元大学教授時に御専門分野でロボットコンテスト等での学生指導の経験を活かして、都内特別支援学校の複数校で教材製作アドバイザーを務められています。本校でも教材アドバイザーとして、教職員の教材作りに関して素材や工

法等の助言を頂きます。〈月1回程度来校〉

〈報告〉 夏季休業中に校内環境整備を進めました！

夏季休業期間を通じて、全校教職員が計画的に職員室を含む学校環境の大規模整備を行いました。

改善点① 第1職員室に小学部教員と自立活動担当教員が移動。このことにより、次の移動も行いました。

改善点② 第2職員室は、学校介護職員及びつばさ病院訪問学級担当教員の執務場所となります。景山副校長と加藤尚主幹教諭（特別支援教育コーディネーター）が常駐します。

改善点③ 第1職員室上部の3階にあった旧自立活動担当教員職員室は、外部専門員が勤務日に用いるフリーアドレス型の執務室となりました。

改善点④ 校舎内の各教室前廊下に車いす等の用具置き場スペースをテープで表示しました。廊下を通行しやすくするために片側置きに移行しましたので、指定スペースを守っていただくようお願いいたします。また、この事に伴い、形骸化していたセンターラインを一部撤去しました。

改善点⑤ 職員室前廊下の収納ロッカー入れ替え、規格を統一し印刷機を再配置し、業務効率の向上を図りました。

改善点⑥ 職員室に隣接していた旧放送室は事実上消耗品等の仮置き場となっていたりましたが、全て搬出し、教職員の打ち合わせ兼休憩時間のリフレッシュスペースとしました。

改善点⑦ 校内各所の廊下掲示物や吊り下げ展示物の安全点検を行い、老朽化して強度の低下がみられる物や使用目的を終えた掲示物等を全て撤去しました。

改善点⑧ 南棟1階EVホールに前述のテレワークブースとWi-Fiを設置するとともに、南棟2階EVホールにも保護者等待機用個別コーナーも再整備しました。

改善点⑨ 各階の北棟と南棟をつなぐ廊下中ほどにあったラウンド状のスペースにあったものを全て撤去しました。

〈予告〉今後、図書館リニューアルの専門家である、赤木かん子氏のアドバイスを受けながら、新たに各階毎にテーマ別の図書ラウンドを再整備していきます。

改善点⑩ 学校運営連絡協議会の委員からも指摘をいただいた「教室ドア」ですが、参観保護者や見学者等から教室内が見えづらく不安を感じるかもしれない教室扉や廊下側窓ガラスを塞いでいる黒紙・黒布や掲示物を全て撤去し、明るく開放的な教室及び廊下となるようにしました。

改善点⑪ 教職員の職場環境改善（働き方改革）の一環として、教職員の執務机に外付けモニターの追加配置を順次進めてきたところですが、今回、新たに24インチ以上の大型モニターを約30台追加配備しました。（業務用端末のノートPCの画面は14インチ程度です。）

改善点⑫ 〈予告〉今後、校舎内壁面に順次絵画額を多数取り付けて、墨東アートギャラリーとして各分教室生や訪問学級生も含めた墨東生の絵画作品を常設展示できるようにしていきます。御期待ください。

校長 田村康二郎